

前内閣官房副長官
衆議院議員 埼玉1区（浦和区・緑区・見沼区）

<http://www.muraihideki.com>
TEL: 048-711-3241
FAX: 048-711-3242

村井ひでき

通信
号外



ご挨拶

～総理官邸勤務3年を活かし、日本を前に進める～

10月1日、岸田内閣が幕を閉じ、石破内閣が誕生しました。私も、官房副長官を退任し、3年間勤めた総理官邸をあとにしました。

岸田政権において、最初の2年間で総理大臣補佐官、最後の1年間で官房副長官として、政治家では唯一、官邸での3年間の継続勤務を経験させて頂きました。

この間、「30年続いたデフレ経済からの脱却」、「ウクライナ戦争に伴う物価高対応」、「3.6兆円の大規模な少子化対策」、「防衛力の抜本的強化」など、この国の先送りできない課題に、全力で取り組みました。震災や北朝鮮のミサイルなど緊急事態対応もあり、朝から晩まで緊張感が途切れない中、目の前の仕事に無我夢中で取り組む日々でした。

改めて今、こうして、国政の中核で働く機会を頂いたのも、地元の皆様のお陰であると実感しております。振り返れば、13年前。政治には縁のないサラリーマン家庭出身で、「地盤・看板・かばん」何も無いゼロからのスタート。右も左も分からない若輩者を、多くの方が助けて、そして育てて下さいました。この場を借りて、改めて心より感謝申し上げます。

一方、昨年来、自民党の政治資金問題により、政治不信を招く事態となりました。岸田政権としても、政治資金規正法改正などに全力で取り組みましたが、岸田総理は、組織のトップとしての責任を取るため、退任を決断しました。

そして、自民党は15日間の総裁選を実施。石破議員が新総裁に選ばれ、総理大臣に就任しました。

私自身は、初当選以来、一貫して「クリーンな政治」を心がけており、政治資金も法令に則って適切に報告しております。今後も、石破総理の下で、政治不信の解消、山積する課題に正々堂々と取り組んで参ります。

改めてこの3年間、40代前半で、総理大臣の働きぶりを間近で見ることができたことは、本当に貴重な経験になりました。

総理大臣は、体力的にも精神的にも、とてつもない負担がかかる仕事です。国会がある日は、朝から晩まで、厳しい質問に答えなければなりません。外交では、強行軍で出張し、世界のリーダーと国益をかけた厳しい交渉を行います。

こうした過酷なスケジュールの中、総理大臣には、何があっても、何を言われても、常に落ち着いて事態に対処する、体力・精神力、そして胆力・判断力が求められます。

私としても、もう一度、国政の中核で、より責任ある立場で、この国の舵取りを任せて頂けるよう、体力、精神力、胆力、判断力、全ての面において、更なる精進を続ける覚悟です。

皆様の引き続きのご指導を何卒よろしくお願い申し上げます。

衆議院議員 村井英樹

官房副長官・総理補佐官としての3年間の主な取り組み

総理の決断をサポート

この3年間、一番の仕事は、岸田総理の相談相手として、その決断をサポートすることにあります。総理大臣の日常は多忙を極めます。一方で、日々、想定外のことが起こり、限られた時間の中で、多数の迅速な判断が求められます。そのための適切なアドバイスを如何に行うか。試行錯誤を繰り返しながら、各省庁の意見も参考にしながらも、鵜呑みにはせず、国民目線で何が正しいかを考え抜き、総理にアドバイスするよう心掛けました。



岸田総理と休日夜に打ち合わせをする様子。

災害・ミサイルなど緊急事態対応

地震や豪雨災害、北朝鮮からのミサイル発射への対応のため、度々、総理官邸へ緊急参集し、総理・官房長官・危機管理監と共に、緊急事態への対応にあたりました。特に、今年元旦に発生した「能登半島地震」では、発災直後から、24時間体制で連日対応に当たりました。なお、官房副長官は、平時から官邸近傍にすることが原則であり、就寝時も、常に電話一本で飛び起きて、出発できるように準備していました。



官房長官の代理として、政府の対応状況について説明する様子。

物価高への対策を推進

ウクライナ戦争に伴うエネルギー価格高騰や、円安を背景とした物価高にどう対応するか。速やかに施策の効果をあげるため、官邸主導で、ガソリン価格を175円/L以下に抑制し、電力代やガス料金の引下げ補助を行うなどの対策を、迅速に策定・実行しました。また、今年後半、石破政権において、年金生活者の方など、物価高の影響が大きい方向けの思い切った経済対策を速やかに実行できるよう、関係省庁と準備を進めました。



会議の場で各省庁に指示を出す様子。

中小企業や介護・保育分野など幅広く賃上げを促進

物価高を乗り越えるためには、それを上回る賃上げが不可欠。そのため、岸田政権では、「賃上げ」を政策の中心に据え、今年の春闘では5%超の力強い賃上げの流れを実現。この流れを本格的なものとするため、大企業と中小企業の取引適正化を徹底し、中小企業の賃上げを促進しました。また、看護師・介護士・幼稚園教諭・保育士など、賃金が公的に決まるにも関わらず、職務に比して報酬が十分でない皆様の収入を思い切って増やしました。



保育士の皆様から、働き方の現状などについてお話を伺う様子。

緊張感あふれる首脳外交をサポート

内政と並び、副長官の重要な仕事は、首脳外交の補佐です。総理の海外出張に同行し、首脳会談に同席します。この1年間で、日米、日中、日印など多数の首脳会談に同席し、バイデン大統領・習近平国家主席・モディ首相など、世界の指導者との緊張感あふれる外交現場で汗をかきました。また、4月の国賓待遇での米国訪問時には、私自身、バイデン大統領・ハリス副大統領はじめ幅広く米国政府要人との信頼関係を深めることができました。



公式晩さん会前にホワイトハウスでバイデン大統領と

こども家庭庁の創設・少子化対策の抜本強化に尽力

昨年4月の「こども家庭庁」創設に尽力しました。こども家庭庁は、これまで様々な省庁にまたがっていた、こどもに関わる施策を一元的に担う組織です。その上で、少子化対策については、2030年代に入ると若者世代が減少することから、今がラストチャンス of 想いで、政策づくりを行いました。①児童手当の所得制限を撤廃し、対象を高校生まで拡大、②大学の授業料減免や給付型奨学金の対象拡大、③育休給付の引上げなど幅広く対策を講じました。



浦和の保育園を訪問し、子ども達から話を伺う様子。

AI・創薬・ウクライナ支援などの政策をリード

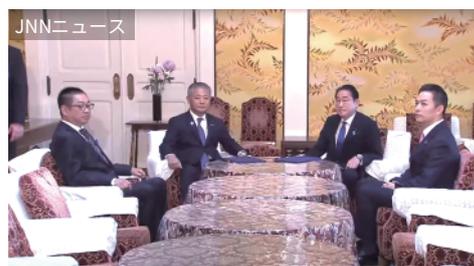
官房副長官・総理補佐官として、各省庁にまたがる幅広い政策や、迅速さが求められる対策を、官邸主導でリードしました。特に、AI（人工知能）については、「21世紀の産業革命」とも言われ、その影響は計り知れないものがあります。そのため、私が「AI戦略チーム長」として、AIの持つ潜在力を最大限活かし、我が国の経済成長につなげつつ、犯罪への悪用などのリスクに適切に対処するための方策について検討を進めました。



AIの専門家の皆様と夜遅くまで議論を行う様子。

政治資金制度改革と信頼回復に向けて

昨年未から、自民党の政治資金の問題で、厳しいご批判を頂くと同時に、ご心配も頂いております。大変申し訳ありません。私自身は、「裏金問題」と全く無関係であり、引き続き、政治資金について適切・明朗な会計を継続するとともに、正々堂々と仕事に取り組んで参ります。また、二度と「政治とカネ」の問題が起きないための仕組みづくりに向けて、更なる「政治資金制度改革」に取り組むことで、政治の信頼回復に努めます。



維新の馬場代表との党首会談に臨む様子。(画像はJNNニュースより引用)

さいたまの皆様へ

村井英樹さんは、岸田政権の3年間、官房副長官・総理補佐官として、一心不乱に仕事に取り組んでくれました。この3年間、総理官邸に継続して勤務してくれたのは、政治家では、村井英樹さんが唯一無二の存在です。

私が総理大臣になったことも、総理大臣として様々な結果を出すことができたことも、村井さんの献身的な働きがあったからこそです。村井さんは24時間体制で、事に当たってくれました。間違いなくこの3年間で「最も仕事をした国会議員」です。本当に感謝しています。

村井さんは、ほとんどの議員が、経験できない、貴重な官邸経験を、既に3年積みました。そんな「働きざかりの44歳」には、この国のために、もっともっと大きな仕事をしてもらわなければなりません。

そのためにも、ご地元さいたまの皆様方の村井英樹さんへのご指導ご鞭撻を引き続き賜れますよう、心からお願い申し上げます。

第100代・101代 内閣総理大臣

岸田文雄



地元の皆様の声が、村井ひできの活動の原点です。

役所を退職して、政治の世界に身を投じて、今年で13年目。お陰様で、国政の中枢で、重要政策に取り組みさせて頂く、貴重な3年間を過ごして参りましたが、その原点は、何と云っても、地元の皆様から頂く、様々な声です。国政についてのご意見、地域の課題についてのご要望など、何なりとお伝えください。必ず迅速に対応させて頂きます。

(電話番号：048-711-3241、Email: info@muraihideki.com)



村井ひできプロフィール

昭和55年5月14日（44歳）

さいたま市生まれ、浦和区在住。

家族：妻、長男（9歳）、二男（7歳）、三男（5歳）

浦和市立別所小学校卒業。

東京大学卒業後、財務省入省。

ハーバード大学大学院修了。

平成23年財務省退官。

平成24年初当選。現在4期。

令和3年10月 内閣総理大臣補佐官。

令和5年9月内閣官房副長官。



LINE公式アカウントでも
情報発信をしています。
皆さんぜひ友だち登録を
お願いします！

